

「きのくにコミュニティスクール推進に係る指標」の見方・使い方について

平成31年3月 きのくにコミュニティスクール推進協議会

きのくにコミュニティスクール推進協議会は、和歌山県が取り組んでいるきのくにコミュニティスクールを推進していくために組織された協議会です。推進協議会では、教育・福祉・NPOなどさまざまな立場から、きのくにコミュニティスクールの取組の総括や今後の方向性を考えるとともに推進のための支援を行っています。

その取組の一つとして、「きのくにコミュニティスクール推進に係る指標」を作成しました。

この指標には、各学校や地域においてきのくにコミュニティスクールを推進するにあたって、そのめざす方向に必要なと考えられる取組の内容を整理しています。

学校運営協議会委員や教職員等のきのくにコミュニティスクールの関係者にご覧いただき、この指標の内容をもとに、現在の取組の状況や今後の取組に必要なこと等を確認し、取組の充実・改善につなげるために活用していただきたいと考えています。

きのくにコミュニティスクール推進に係る指標

平成31年3月作成 きのくにコミュニティスクール推進協議会

項目	学校(学校運営協議会)	地域(共育コミュニティ等)	重点的に取り組みたいこと	
学校運営協議会の機能 課題・目標・ビジョンの共有 学校運営の基本方針の承認 学校運営についての意見 教職員の任用に関する意見 委員の構成	(学校運営協議会や共育ミニ集会等における協議や熟議を通して、)現状や課題を把握し整理している。 育でた... 育...		各項目・内容に沿って、学校や地域で重点をおいて取り組みたいこと等があれば記入します。 (取組の例) ・学力 ・体力 ・不登校 ・地域の防災対策 ・子供の安全確保 ・部活動の運営 ・教職員の多忙化解消 ・校則 (制服、スマホ使用...) ・地域の行事 など	
	各項目に対して、「学校(学校運営協議会)」と「地域(共育コミュニティ等)」のそれぞれに取り組んで欲しい内容を記載しています。			
	連携体制 学校と地域の連携体制 校種間の連携	学校運営協議会の協議結果をもとに学校と地域が連携して取り組むため地域連携担当教員が位置づけられ、機能している。 地域内の他の学校運営協議会と連携している。		共育コミュニティ等の関係者が、地域と学校との連絡調整や活動の企画・調整を行っている。 地域内の学校と連携できる体制となっている。
	活動 地域学校協働活動 学校と地域の双方向の関係づくり 地域の核としての学校 地域づくりの担い手の育成	目標やビジョンの達成に向けて考えた具体的な手立てについて、地域と学校が一体となって、役割分担しながら協働して取り組んでいる。 伝統行事の継承等、地域課題の解決に向けて、学校・子供たちが貢献している。 学校が地域の中心的な存在となり、地域の課題解決に取り組む体制が整っている。		学校支援活動に、幅広い地域住民等が参加・参画している。 学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよどころとなっている。 活動を通して、子供たちのふるさとへの愛着や誇りを持つ心を育てている。 活動を通して、そこに関わる大人や地域の絆が深まっている。
情報提供 学校運営協議会の協議結果の情報提供 (独自の項目) (独自の項目)	協議結果について、学校便りやインターネットを通じた発信、共育ミニ集会等における報告など、様々な方法で地域住民等に情報提供している。			

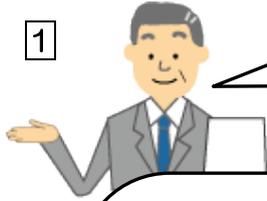
きのくにコミュニティスクールの目指す方向に必要な項目を示しています。

学校や地域で独自に設定したい項目・内容があれば記入します。

※共育ミニ集会・・・ 学校等を会場に、地域や保護者が気軽に参加でき、「地域の子供をどう育てるか」を共に考え、話し合う場

Q&A

1



Q. いつ、どの場面でこの指標を活用すればいいですか。

A. 主に、学校運営協議会での活用を考えています。年度当初に委員同士で指標の内容を確認し合うことで、共通理解を図ることができます。

例えば、「学校運営の基本方針の承認」という項目を見ると、協議会として基本方針を承認する際には、各委員は当事者意識を持って「いいですね」「わかりました、一緒にやっていきましょう」「家庭・地域でもこんなことができそう」といった意見や思い等を述べるのが大切である、ということがわかります。

年度途中や年度末の学校運営協議会でも再確認をして、成果や課題をもとに取組の充実・改善に活かしましょう。

また、学校運営協議会で独自に設定したい項目や重点的に取り組みたいことがあれば記入する欄も設けていますので、必要に応じて活用してください。



2



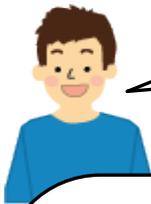
Q. 「協働」とはどのようなことなの。

A. 「協働」とは、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で共に働くことです。保護者や地域住民等が計画段階から参画し、現状や課題、目標・ビジョンの共有ができたうえで、目標に向けた取組を進めてはじめて「協働」といえます。

現状や課題、目標・ビジョンについて、多様な関係者が当事者意識を持って協議し、共有する場が学校運営協議会や熟議です。

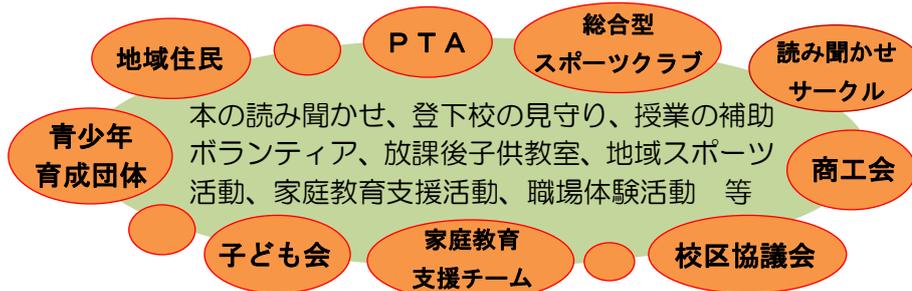


3



Q. 「共育コミュニティ等」って何ですか。

A. 「共育コミュニティ等」は、地域住民や組織・団体等による学校や地域での子供の豊かな育ちや学びを支える仕組みです。



学校運営協議会と共育コミュニティ等の両者が共に両輪となって、普段からコミュニケーションや情報共有を図るなど円滑に連携・協働することが、社会総掛かりでの教育の実現につながります。



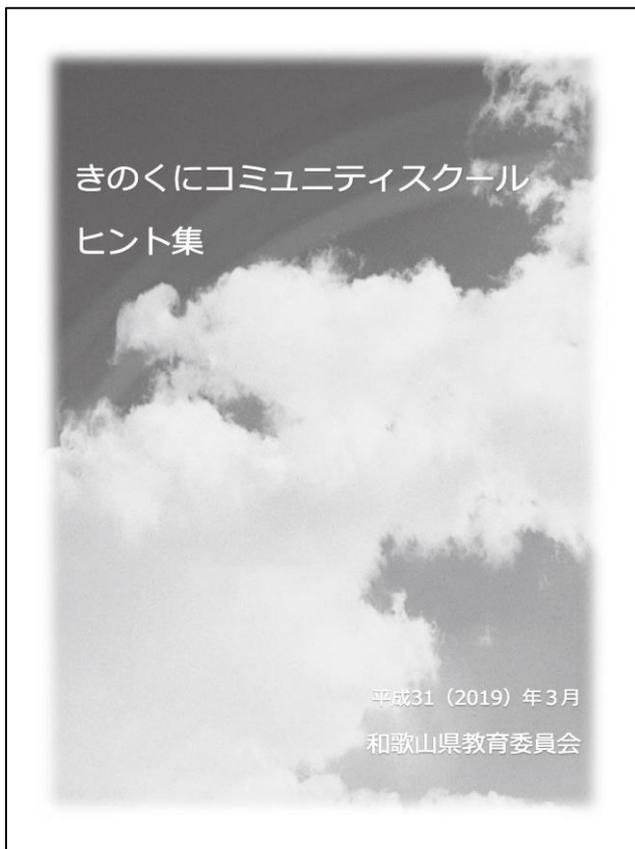
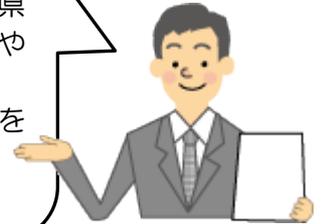


Q. きのくにコミュニティスクールのいろいろな取組を知りたいです。

A. 和歌山県教育委員会から「きのくにコミュニティスクールヒント集」を発行しています。このヒント集には、各地域の取組の参考となるよう、県内の事例を多数掲載しています。参考にいただき、それぞれの特色や実情、課題に応じた取組をさらに発展させてください。

和歌山県教育委員会のホームページに、ヒント集や研修会の情報などをたくさん掲載しています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500000/index.html>



「きのくにコミュニティスクールヒント集」

目次

はじめに

第Ⅰ部 導入・効果・推進

【市町村による推進体制づくり】 きのくにコミュニティスクールを導入し、推進していくための市町村の取組の紹介

1. 有田市の地域とともにある学校づくり
～CS推進員と有田市コミュニティ・スクール連絡協議会の取組～・・・ 1
2. 学校運営協議会委員による合同研修会の取組・・・ 2
3. 学校運営協議会推進員による学校巡回の取組・・・ 3
4. コミュニティ・スクール推進協議会の活動・・・ 4
5. コミュニティ・スクール推進への教育委員会の関わり・・・ 5

【具体的取組事例】 きのくにコミュニティスクールを推進するための学校運営協議会を中心とした取組の紹介

1. レジメとホワイトボードでマネジメント～宮原小学校の場合～・・・ 6
2. 管理職が引っ張るCSから全職員が役割を担うCSへ・・・ 7
3. 部会組織で機動的に動く学校運営協議会・・・ 8
4. 共育座談会「子育て、本音でトーク！」
～地域ぐるみで子供を見守り・育てるために～・・・ 9
5. 気軽に共育ミニ集会～よりよいコミュニティ・スクールへ～・・・ 10
6. 学校運営協議会による通学路の安全確保のための取組・・・ 11
7. 学校・地域の「元気」を生み出すコミュニティ・スクール・・・ 12
8. 上中学力向上応援隊（2018）
～学習支援ボランティアによる補充学習への取組～・・・ 13

第Ⅱ部 小中連携・一貫教育

校種間で連携している取組の紹介

1. 幼保・小中自治体が連携した学校運営協議会の取組・・・ 14
2. 中・高連携による生徒・教職員の交流
～貴志川中学校・貴志川高等学校の交流から～・・・ 15
3. 地域と共にある学校をめざして
～和歌山市立加太幼稚園・加太小学校・加太中学校の連携を深めて～・・・ 16
4. 広域的に展開するコミュニティ・スクール
～学習活動と地域や地元企業等を連携させた取組～・・・ 17

詳しくは、きのくにコミュニティスクール

検索

